

## 意見公募手続回答書

		コード	33
案件名	第2次かすみがうら市総合計画 前期基本計画（案）		
募集期間	平成28年9月15日～平成28年9月28日		
意見受付件数	2件（14項目）【郵送0件、持参0件、FAX0件、電子メール2件】		
担当課	政策経営課		
No.	意見の要旨	市の考え方	
全体に対するもの			
1	市民にわかりやすいように、用語解説を添付し、意見を求める配慮が必要ではなかったか。	計画内容に対する意見を求める趣旨から、計画内容のみをお示ししました。用語解説については、基本構想を含めた総合計画としての全体バランスを考慮したうえで調整いたします。	
2	施策の展開の紙面は、現況と課題、データ、施策の方向、目標値の構成に統一すべき。目標値の設定がない項目がある。この項目については、事務事業の進捗状況や見直しに繋がらない。また、予算編成の根拠にもならない。	総合計画へは、分かりやすい指標を用いることのできる施策の目標値を掲載しています。事務事業の評価や進捗管理においては、当該計画において目標値掲載のない施策であっても個別に目標値を設定しているところです。	
3	目標値の欄には説明の記載があるが、共通認識が得られるよう目標値の考え方も記載すべきではなかったか。	この欄は、目標値の設定根拠ではなく、指標を高めていくうえでの補足説明を記載しています。	
第4章 施策の展開 > 基本目標 1-1-1 環境保全・公害			
4	<p>《現況と課題》</p> <p>野焼きに伴う大気汚染との記述があるが、確かに大気汚染の原因の一つにあげられるが、主な原因ではない。市としては、主な原因と捉えているのか。</p>	大気汚染の原因は車や工場等の排煙など複数ありますが、ここでは市民の日常生活における身近な問題として影響のある野焼きを挙げています。	
5	<p>《施策の方向》</p> <p>課題の中で大気汚染を挙げているにも関わらず、施策の方向には記載がなく疑問に思う。対策を希望する。</p>	「④公害の防止」の施策内容に、大気汚染防止に関する啓発について記載します。	

6	<p>《目標値》…④公害の防止</p> <p>立ち入り検査、指導件数の指標は、計画的に立ち入りを行い、その結果として、指導した件数を意味しているのか。提案として、ここは施策の方向の内容の中で公害の苦情処理体制の強化を図るとあり苦情件数のデータがあるため、公害苦情件数を挙げてはどうか。取り組みの成果によって苦情件数が減る。これを目標値としてはいかがか。</p>	<p>すべての指導件数を意味しております。また、公害苦情件数を目標値にするご提案については、現在の指標である「立ち入り検査、指導件数」も公害苦情に対する指導件数が含まれておりますので、取り組みの成果によって、苦情件数を減らしていくことと同様の考えとなります。</p>
<p>第4章 施策の展開 &gt; 基本目標 1-1-2 自然資源の活用</p>		
7	<p>《目標値》</p> <p>戦略1の湖と山お宝活用プロジェクトの中に、短期目標としてイベント参加者数の増加が挙げられていることから、自然資源を生かした体験型イベントに目標値を設定すべきではないか。</p>	<p>多角的な視点や連携によって本市への入込を促す観点から、各種イベントの参加者についても31頁の入込観光客数の目標値に含む設定としております。</p>
<p>第4章 施策の展開 &gt; 基本目標 1-2-2 下水道</p>		
8	<p>《目標値》…公共下水道整備率</p> <p>目標率が平成27年度と同じなのは、今後5年間において、事業実施は見送ると理解してよろしいか。もしそうだとするならば、目標にあげるのは疑問。施策の方向の内容を見ると、整備促進には中々難しいと読めるため検討を要する。</p>	<p>一定の目標は達成したものとして削除します。</p>
<p>第4章 施策の展開 &gt; 基本目標 1-2-3 河川</p>		
9	<p>安全で快適なまちづくりをするためには、河川の整備を積極的に進めていくことが必要と課題を挙げながら、整備促進の目標値がないのは疑問。なお、積極的に取り組むという表現は、河川と医療保険制度にある。</p>	<p>他の施策とのバランスを考慮して表現を検討します。</p>

産業の振興について【第4章 施策の展開 > 基本目標2】		
10	<p>広報8月号において、市長は、重点を置くべき項目として、6次産業化のように農工商が一体となって地場産業をもり立てていく仕組みが必要と述べています。市長が述べた仕組みは、施策の方向の中で表しているのでしょうか。ふるさと商品づくりと販路の拡大の内容が市長の思いなのでしょう。市長の思いを分かりやすく施策の方向の中で表していただきたい。</p>	<p>この仕組みは、戦略プロジェクトの戦略1「湖と山の“お宝”活用プロジェクト」のイメージのとおり表しております。自然活用や、観光、農業、商業との連携によって地場産業をもり立てていく内容としております。</p>
健康づくりにおける禁煙と受動喫煙対策について【第4章 施策の展開 > 基本目標4】		
11	<p>住民の健康寿命を延ばし、重症化予防のため、また、子ども・妊産婦・アレルギーなど感受性の高い方を含めた非喫煙者を受動喫煙の危害から守るために、健康の基本として、禁煙と受動喫煙対策の重点施策をお願いしたい。</p>	<p>喫煙は疾病のリスクファクターであり、健康増進計画等においても課題認識しております。このリスク軽減の対策については、子どもや妊産婦への配慮も含め、各種事業での運用によって、住民の健康をサポートしていきます。</p>
第4章 施策の展開 > 基本目標6-1-1 学校教育		
12	<p>社会的問題となっている、生きる力、いじめ問題については、教育相談の充実の中で考え方が示され、いじめ防止基本方針も定めているのであれば、目標値の中に項目を設け、市民に対し意志表示すべきと考えます。</p>	<p>いじめ問題については、その防止対策など重要な課題ではありますが数値目標の設定はなじまないものと認識しております。</p>
第4章 施策の展開 > 基本目標7-5-1 行政運営		
13	<p>窓口サービスの向上の指標として、コンビニ交付件数をあげているが、交付件数が多くなれば、市民満足度が高まると考えているのでしょうか。現況と課題の中にあるように、分かりやすい窓口体制の構築が求められています。理想としては、一度で市民の用が足りる窓口であると思います。これを目指すため、指標と</p>	<p>窓口業務に関する横断的な連携は、関係課間のもとで必要に応じて適宜内部調整し対応しておりますが、一定の研修・研究を開催していくことについては、検討していくこととします。</p>

	して、研修・研究の開催をあげてはどう でしょうか。検討してください。	
第4章 施策の展開 > 基本目標 7-5-2 財政運営		
14	財源確保については、独自の収入を得る 努力が一段と求められています。現在行 っているふるさと納税制度、広告収入も その一つといえます。これからの行政で 求められるのは、独立採算性の観点を多 いに意識し、歳出削減を含め財源確保に 知恵を絞っていただきたい。	持続可能な財政基盤が確保されるよう、行政 経営を推進してまいります。